



## 櫻園通信 46. 平成 30 年 2 月

東京都健康長寿医療センター  
養育院・渋沢記念コーナー  
連絡先: 老年学情報センター

# 渋沢栄一・養育院・慰霊協会による 松平定信公の顕彰

稲松孝思(顧問医)

渋沢栄一は、「養育院」が、寛政の改革の中で、老中松平定信が定めた七分積金・町会所の制度で得た資金によることを深く感謝し、定信（隠居名・白河楽翁）の顕彰に務めた。

一連の渋沢栄一と養育院による、松平定信公顕彰の活動は、東京都慰霊協会に引き継がれている。

### 渋沢栄一生前の活動

- 月命日に渋沢が養育院を訪問。安達憲忠幹事らの、現場の人たちと養育院の運営について協議、指示。院の子供たちや利用者にお菓子を配り、話をするなど親しく接する。
- 養育院の守り神として、「吉祥院歡喜天誓願書」の坂本源平元幹事による写しと「渋沢の賛」をひとつに額装し、養育院本院（大塚）と巣鴨分院の院長室に掲げた。養育院本院の額は現存し、養育院・渋沢記念コーナーに展示している。「吉祥院歡喜天誓願書」の現物は、渋沢が当初所蔵したが、桑名の松平家に返却し、松平家の鎮国・護国神社（桑名市）の宝物となっている。なお、白河の松平藩は、文政6（1823）年、隠居していた楽翁の意向もあり、桑名に移封となっている。
- 墓前祭・明治43年5月13日、第一回楽翁公記念会：巣鴨分院講堂。昭和6年まで定例で行われる。（昭和4年）以降、松平楽翁公遺徳顕彰会と東京市共催で江東区白河の靈巖寺で墓前祭が行われた。
- 南湖神社（祭神松平定信）：  
白河市の中目瑞男の首唱で、公の偉大な御遺徳を敬慕する白河市民を始め、各地の崇敬者の熱烈な至誠と、渋沢栄一の御尽力により、大正9年神社設立が認可され、大正11年御鎮座大祭が執行された。
- 松平楽翁公遺徳顕彰会（昭和4年6月14日）徳

楽翁公関連講演会の小冊子が「松平楽翁公墓前祭講演記録集」として一冊にまとめられた（平成29年）。



川家達総裁、渋沢栄一会長、平塚廣義（東京府知事）副会長、堀切善次郎（東京市長）副会長。講演会（三上参次）。展覧会：商工奨励館。

- 昭和17年10.15.創立70周年記念式。来会者に「楽翁公心願書」コロタイプ刷り配布。

### 昭和6年11月11日 渋沢栄一逝去

- 昭和8年5.13.楽翁記念会祭典取り止め。本院にて法要。各分院にて偲徳講話。
- 昭和11年5.13.楽翁公記念会、外部関係者招待、法要、講演「楽翁の人格」（三上参次）。
- 昭和12年5.13.第27回記念会、本院。楽翁公記念講演集1（明治43—大正3年）再版配布。
- 昭和12年11.11.楽翁公伝出版 岩波書店、平泉澄・中村孝也編（生前の渋沢栄一の指示で準備が進められたが出版は逝去後となった。）
- 昭和15年5.13.楽翁公記念会・本院。6.14.楽翁公墓前祭、本所公会堂。記念講演（国府犀東）。
- 昭和16年5.13.楽翁公記念法要。6.14.楽翁公墓前祭、講演会「楽翁公時代の国防」（中村孝也）
- 昭和17年6.14.楽翁公墓前祭、楽翁公を偲ぶ夕（日比谷公会堂）。講演会「経世家としての楽翁公」（中村孝也）。

## 東京都慰霊協会、養育院による松平定信公顕彰

- 昭和 22 年、東京都慰霊協会が設立され、関東大震災、戦災罹災者の慰霊目的である。江東区の旧被服廠跡に、講堂、慰霊塔（三重塔）を有する。あわせて、東京の公共功労者の慰霊も行い、楽翁公顕彰会の行事も、事実上継承していた。昭和 45 年に楽翁遺徳顕彰会は解散し、慰霊協会に行事、財産を引き継いだ。この間・東京都慰霊会で、楽翁公関連講演会が行われ、その内容は前掲の小冊子に編まれた。
- 昭和 30 年 5.13.楽翁祭記念講演会「楽翁公と近代日本」（藤井甚太郎）。
- 昭和 34 年 5.13.松平楽翁祭、本院挙行（金子吉衛）。
- 昭和 41 年 1.22.渋沢敬三が養育院に寄付した渋沢コレクションを東京都公文書館に寄託。
- 昭和 41 年 4.28.月刊「楽翁」創刊、利用者報のタイトルとなったが、内容的には楽翁への言及は少ない。

松平定信墓・霊巖寺（江東区白河）



白河市南湖神社前の楽翁銅像

楽翁公記念講演集  
1-4 巻



### 楽翁公記念会講演集目次

#### 第 1 巻（明治 43 年～大正 3 年）

松平楽翁公頌徳の辞	安達憲忠
松平楽翁公と三日月池	安達憲忠
青年時代における楽翁公の逸話	江間政發
松平楽翁公頌徳の遺徳	渋澤栄一
楽翁公と青年の育成	井上友一
松平楽翁公入閣当時の事情	江間政發
松平楽翁公に就いて	渋澤栄一
松平楽翁公に就いて	阪谷芳郎
松平楽翁公の逸事について	三上参次
楽翁公の逸事について	富士川遊
七分金の由来	安達憲忠

#### 第 2 巻（大正 4 年～大正 10 年）

松平楽翁公の逸事について	佐久間長敬
松平楽翁公の逸事	戸川残花
所謂田沼執政時代に就いて	辻善之助
白河楽翁公と水戸文公	栗田勤

#### 第 3 巻（大正 7 年～10 年）

松平の対外政策	井之邊茂雄
考古学上より見たる楽翁公	沼田頼輔
楽翁公の人格	三上参次
賢宰相楽翁公	黒坂勝美
楽翁公の心事	渋澤栄一
楽翁公の犠牲的精神	渋澤栄一

#### 第 4 巻（大正 11 年～昭和 10 年）

孔子教より見たる楽翁公	宇野哲人
寛政の治について	滝 肅
白河楽翁公の遺著	渋澤栄一
経済史上より見たる白河楽翁公	中村孝也
楽翁公の寛政医学の禁について	花見朔巳
楽翁公の住吉奉・百種和歌に就いて	渋澤栄一
楽翁公に対する誤解	平泉 澄
楽翁公の壁書に就いて	渋澤栄一
白河楽翁公の伝記編纂について	渋澤栄一
徳川家康公と白河楽翁公	高柳光寿
松平楽翁公記念会に就いて	渋澤栄一
楽翁公の政治について	岩橋小耶太
皇国精神と楽翁公	松平稻吉